

No.

平成 29 年度総合科学プログラム特別研究論文要旨

学生番号	B146838	学生氏名	高比良 桃子
教育領域	人間探究領域	主指導教員	小宮 あすか 准教授
副指導教員	坂田 桐子 教授		FUNCK,CAROLIN・ELISABETH HANNA 教授
研究題目	日本人の海外留学と文化的自己観の関連		

※要旨記載内容は、指導教員と事前に相談すること。

近年、日本では海外留学の必要性が論じられているが、文部科学省の報告によると、現状、短期留学は増加傾向にあるものの、長期留学は減少傾向にある。これを踏まえ、本研究では、留学を志す人の個人特性と、留学を志す人を増やすための方策を文化心理学の観点から明らかにすることを目的とした。具体的には、相互独立的な個人特性が新しい大地への入植を促したとする自発的入植仮説 (Kitayama et al, 2006) をもとに、日本人の留学の促進要因として相互独立的自己観 (Markus & Kitayama, 1991) が果たす役割を検討することを目的とした。

本研究では、第 1 に、相互独立的自己観が長期留学への希望を高めるかどうかを検討した (研究 1、研究 2A・2B)。第 2 に、相互独立的自己観を高める手段として短期留学に着目し、短期留学が文化的自己観にもたらす効果を検討した (研究 3)。

研究 1：文化的自己観が留学希望に及ぼす影響

【目的・仮説】留学に対して興味や関心を持つ日本人学生が、どのような価値観を持っているのかを明らかにすることを目的とした。自発的入植仮説より、相互独立的自己観を優勢に持つ人は、そうではない人と比較して、留学への希望が強いと仮説を立てた。【方法】調査参加者：大学生 262 名 (男性 125 名、女性 135 名、性別未回答 2 名、19.41 ± 0.98 歳) 測定変数：相互独立的自己観—相互協調的自己観尺度 (7 件法)、留学希望期間 (「興味なし」「1 か月以内」「1 か月～3 か月」「3 か月～6 か月」「6 か月～1 年」「1 年以上」の 6 択) 【結果・考察】相互独立的自己観が優勢であるほど、留学への希望が高い (希望する期間が長い) ことが明らかとなった (図 1)。従って、自発的入植仮説と一貫した結果が得られた。

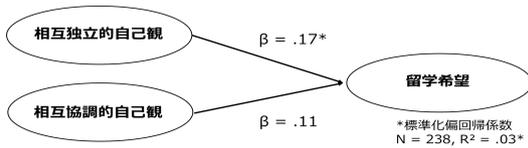


図 1. 留学希望を従属変数とする重回帰分析結果

研究 2A・2B：プライミング法を用いた検討

【目的・仮説】研究 2A では、文章読み取り課題 (Brewer & Gardner, 1996)、また研究 2B では、親しい他者との類似点/相違点を想起させる (Trafimow et al., 1991) ことによるプライミング方法を用いて因果関係の実験的検討を行った。相互独立的自己観プライミング条件では、相互協調的自己観プライミング

条件よりも留学への希望が高くなると予測した。

【結果】研究 2A・研究 2B では、留学への希望において、プライミング効果は得られなかった。

研究 3：短期留学が文化的自己観に及ぼす効果

【目的・仮説】短期留学が自己観に与える影響を明らかにすることを目的とした。本研究では、対立する 2 つの仮説を立てた。適応仮説では、もし短期留学においても滞在先の文化への適応が起こるのであれば、相互独立的文化圏へ短期留学した場合は、相互独立的自己観が高められると予測を立てた。留学仮説では、もし留学することそのものの効果が大きいのであれば、滞在先に関わらず、短期留学後に相互独立的自己観が高くなると予測した。【方法】調査参加者：START プログラム渡航者 161 名 (男性 67 名、女性 94 名、18.88 歳 ± 0.87 歳) 手続き：事前研修 (留学前) と事後研修 (留学後) に質問紙を配布し、回答を求めた。測定変数：相互独立的自己観—相互協調的自己観尺度 (7 件法) 【結果・考察】相互独立的自己観が優勢な西欧諸国に滞在した学生のみ、相互独立的自己観得点が、事前研修時よりも事後研修時で高くなっていった。従って、適応仮説が支持された。

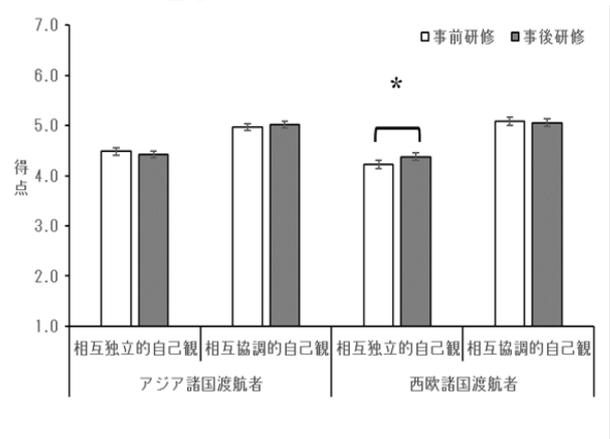


図 2. 文化的自己観・研修時期・渡航先の 3 要因分散分析における交互作用の検討

総合考察

研究 1 では、相互独立的自己観の強い人ほど留学の希望が高まることが明らかとなった。研究 3 では、西欧諸国に滞在した人のみ、留学前と比較して、留学後に相互独立的自己観が高くなっていることが明らかになった。本研究の結果から、現在増加傾向にある短期留学を利用して相互独立的自己観を高め、ひいては長期留学を志す人を増やしていく可能性を論じる。

※裏面を使用する場合は、表面同様の要旨記載枠を設けること。また裏面がある旨、表面に明記すること。